

課題

- サーバ更改に伴うHW/OS/ミドルウェアの入れ替え、および業務資産の修正コストが発生
- 仮想化ソフトウェアの品質担保

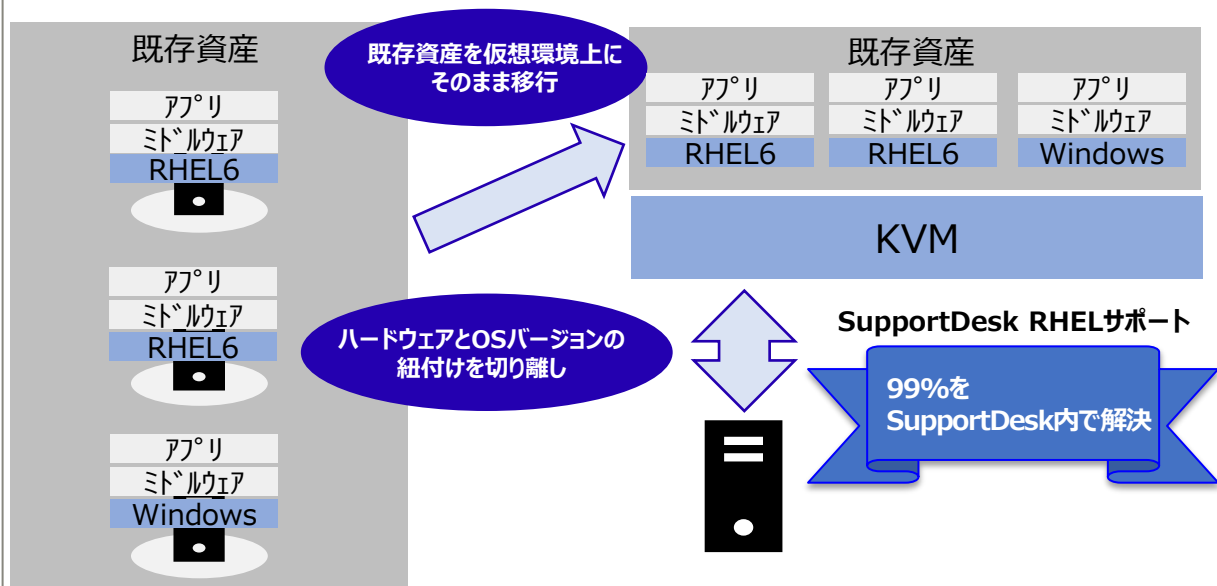
効果

- 仮想化ソフトウェアを採用し、既存資産を継続利用
- 仮想化ソフトウェアにオープンソースであるKVMを採用

適用のポイント

仮想化ソフトウェアにKVMを採用した既存資産の継続利用

- 仮想化ソフトウェアを採用し、ハードウェアとOSバージョンの紐付けを切り離すことで、仮想環境上でOS/ミドルウェア/アプリケーションを続けて利用
- 仮想化ソフトウェアであるKVM^{*1}はLinuxカーネルに標準搭載されており、SupportDeskのRHELサポートを採用することで、サポート品質を担保



[本ソリューションに必要な商品]

- 【SupportDesk】PRIMERGY向け Red Hat Enterprise Linux サポートサービス商品
(基本サポート、拡張サポート、拡張プラスサポート)
- 【SupportDesk】PRIMEQUEST向け Red Hat Enterprise Linux サポートサービス商品
(標準サポート、拡張プラスサポート)

^{*1} <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/featurestory/kvm/index.html>

- Linuxソリューションや、Linux製品についてのお問い合わせは、
下記お問い合わせページよりご依頼ください。
- Linux情報へのお問合せ
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/contact/>